

竹島（島根県）と一宮の特異な関係
 （冬至に野村遺跡から見た妙義山の日没、尖石遺跡にも関係する）

長谷川 彰 hasegawa@msb.biglobe.ne.jp

参考 URL <http://w312.k.fiw-web.net/hscp/>

★ はじめに

竹島（島根県隠岐の島町）、大正島（尖閣諸島）が古代に重要なポイントであった証拠が次々と見つかっている。その中で特記すべき発見があったので報告する。

★知床稲荷神社（礼文島）と竹島の特異な関係

2010年にHSCPの神社群中心として書いた（<http://www.eleki-jack.com/support/-science-no1/>）知床稲荷神社の位置に、図-1に示すように因幡国一宮である宇部神社から竹島を経由した線が極めて正確な直角で到着することがわかった。

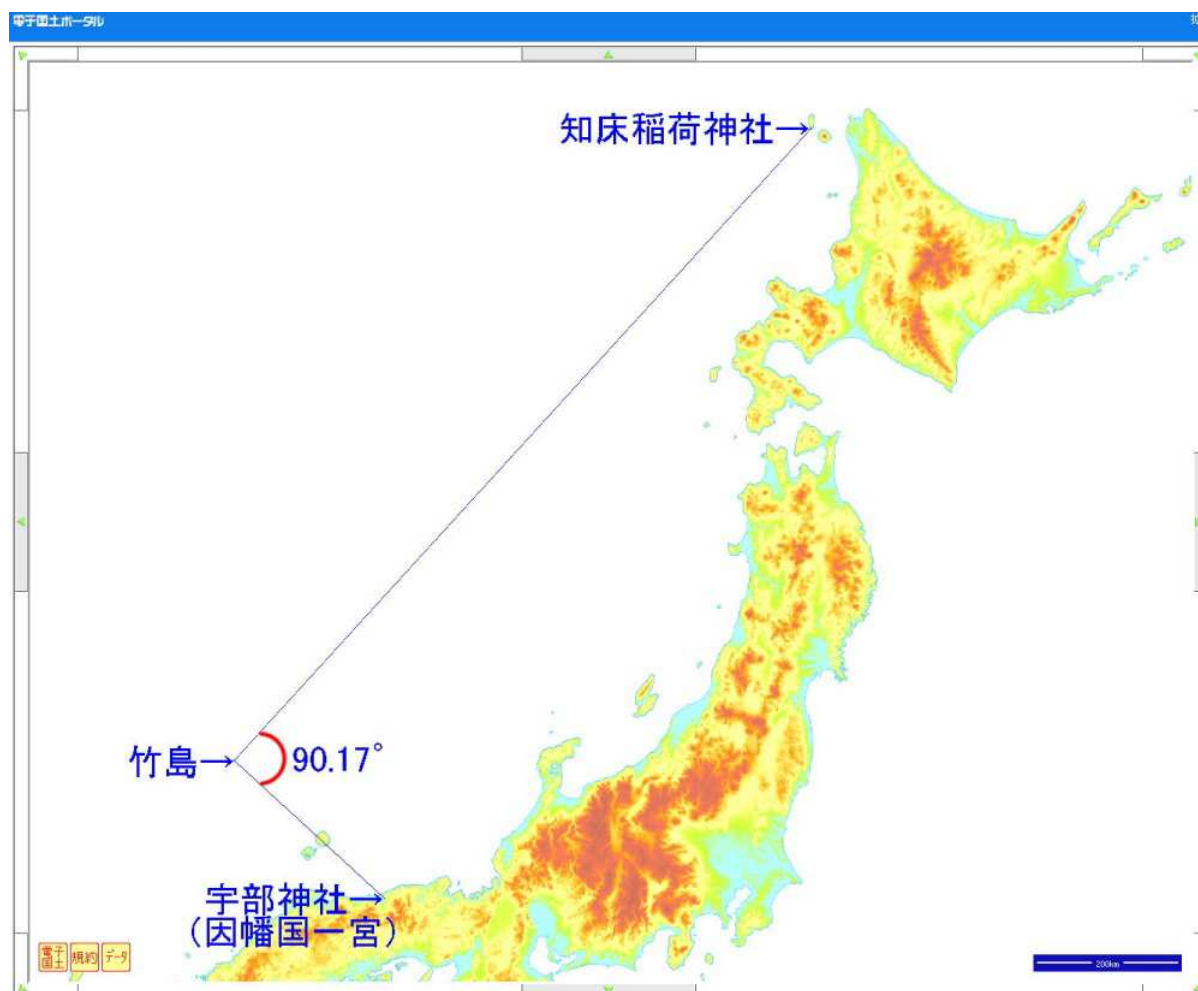


図-1

同時に、図-2のように知床稲荷神社に関わる古富士線であると書いたストーンサークル（朱円環状土籬）も図-3で示す関係がある。

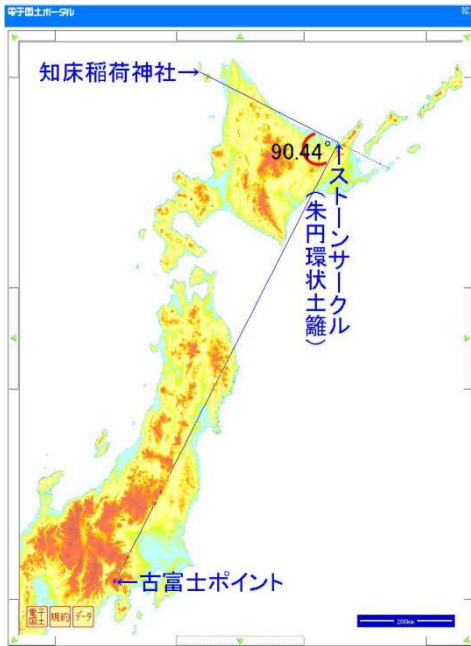


図-2

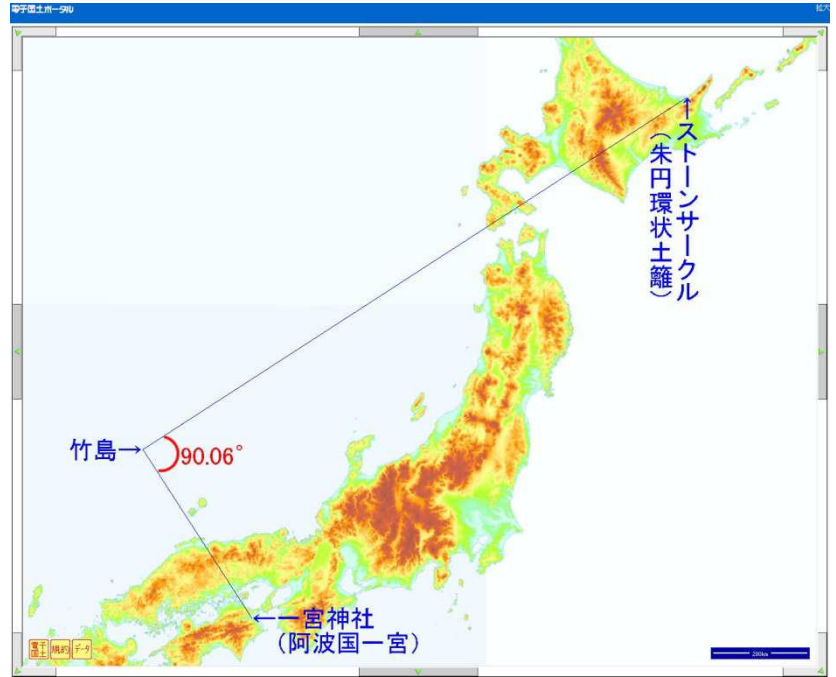


図-3

驚くことに、図-4のようにニセコにある環状列石（曾我北栄環状列石）でも一宮に対して同様な特性を持つことがわかった。さらに、環状列石で同様な関係がないかを調査した結果が図-5から図-10である。（図-8には列石のある遺跡はないが図9、10に関係する）

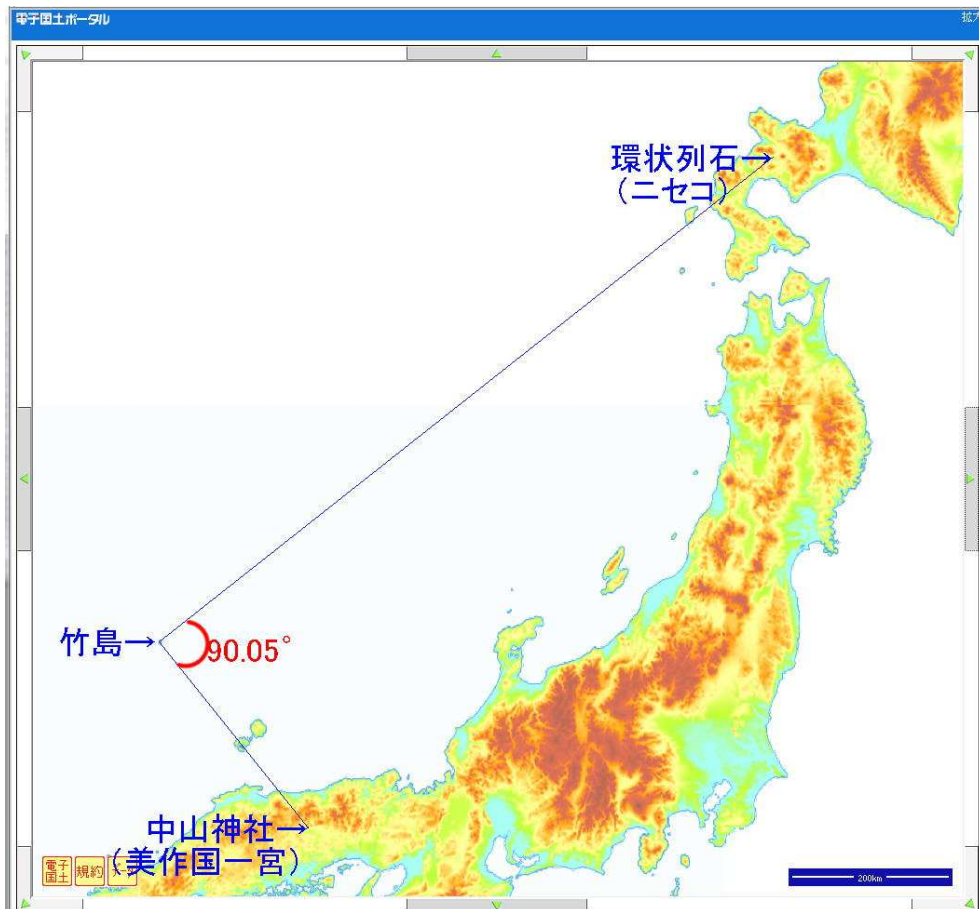


図-4

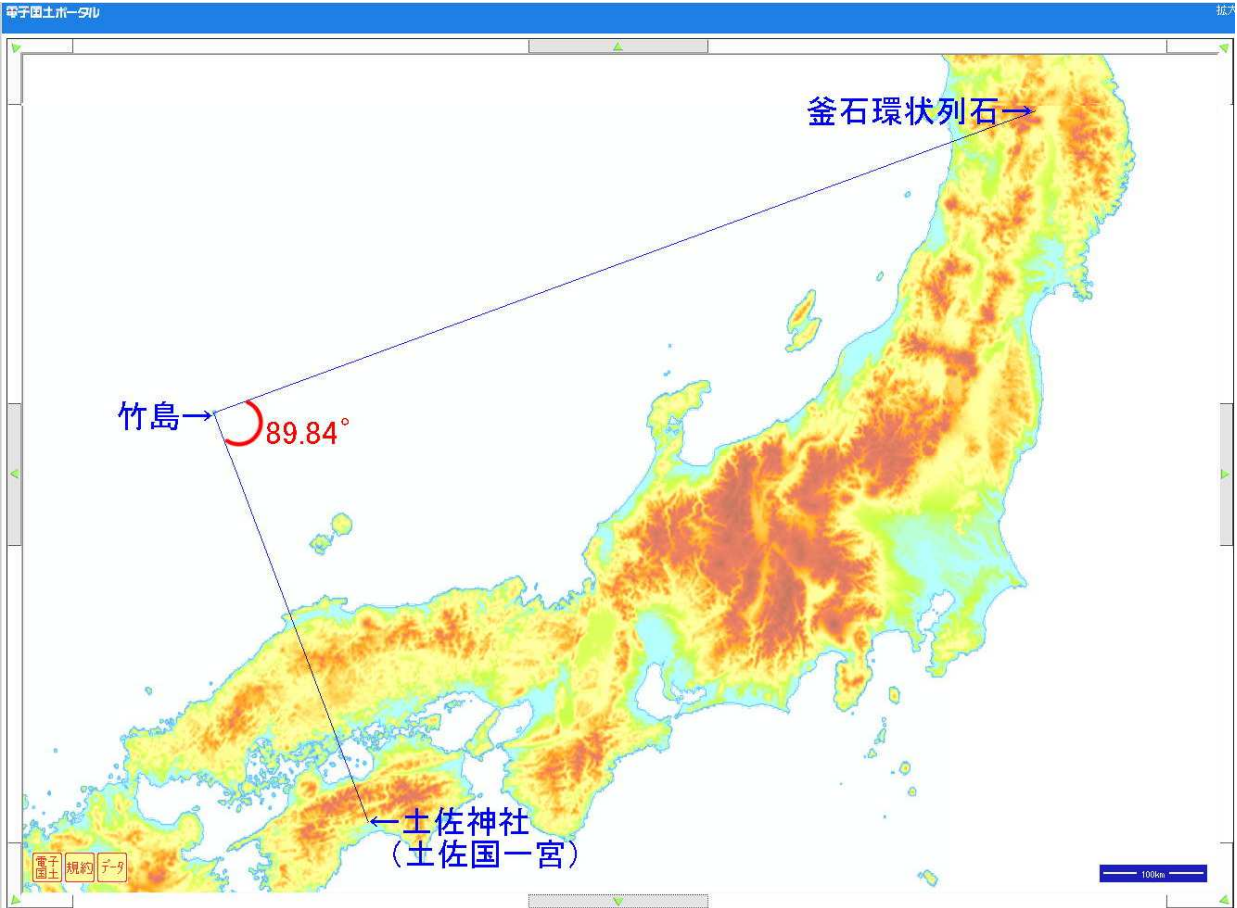


図-5

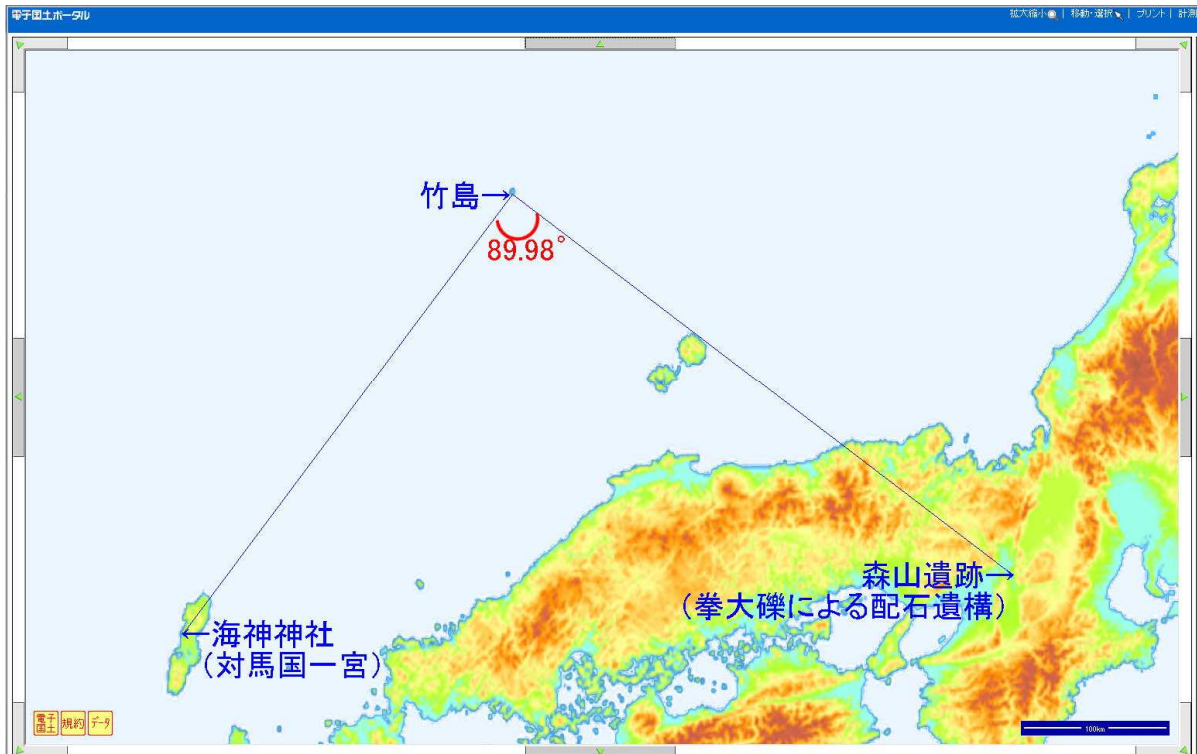


図-6

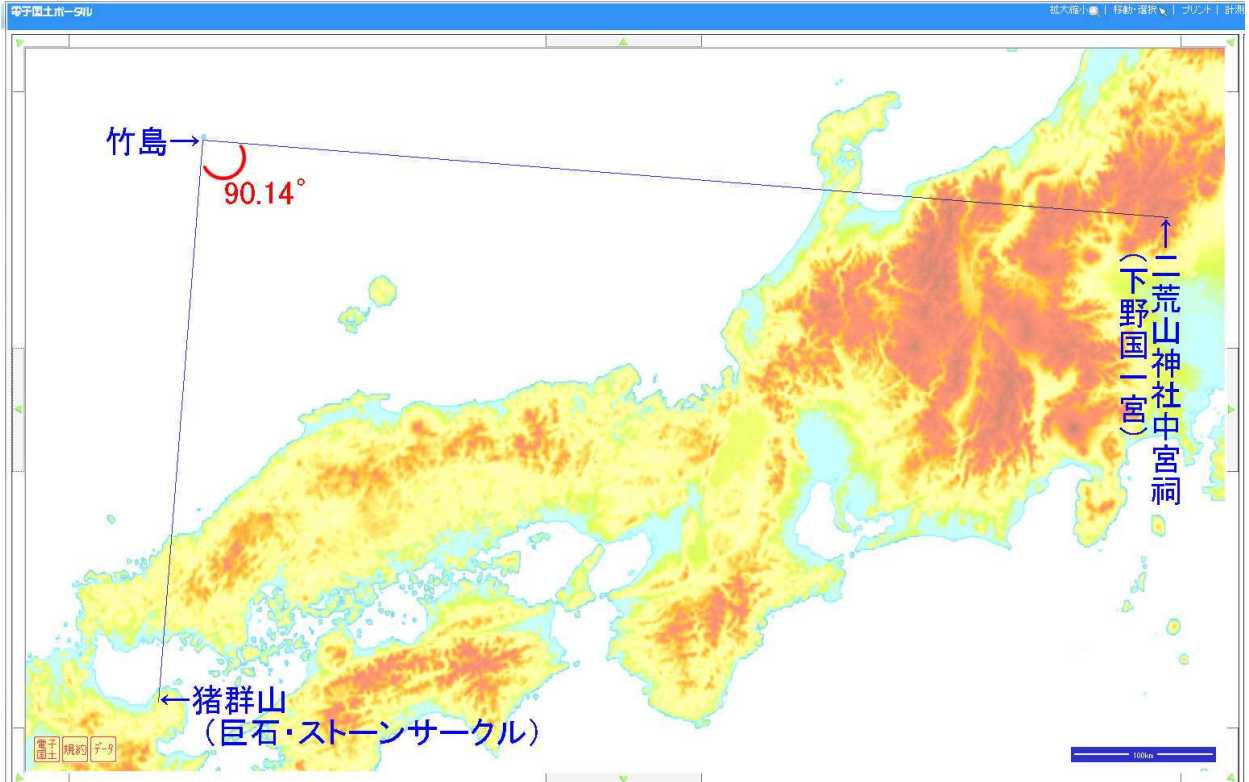


図-7

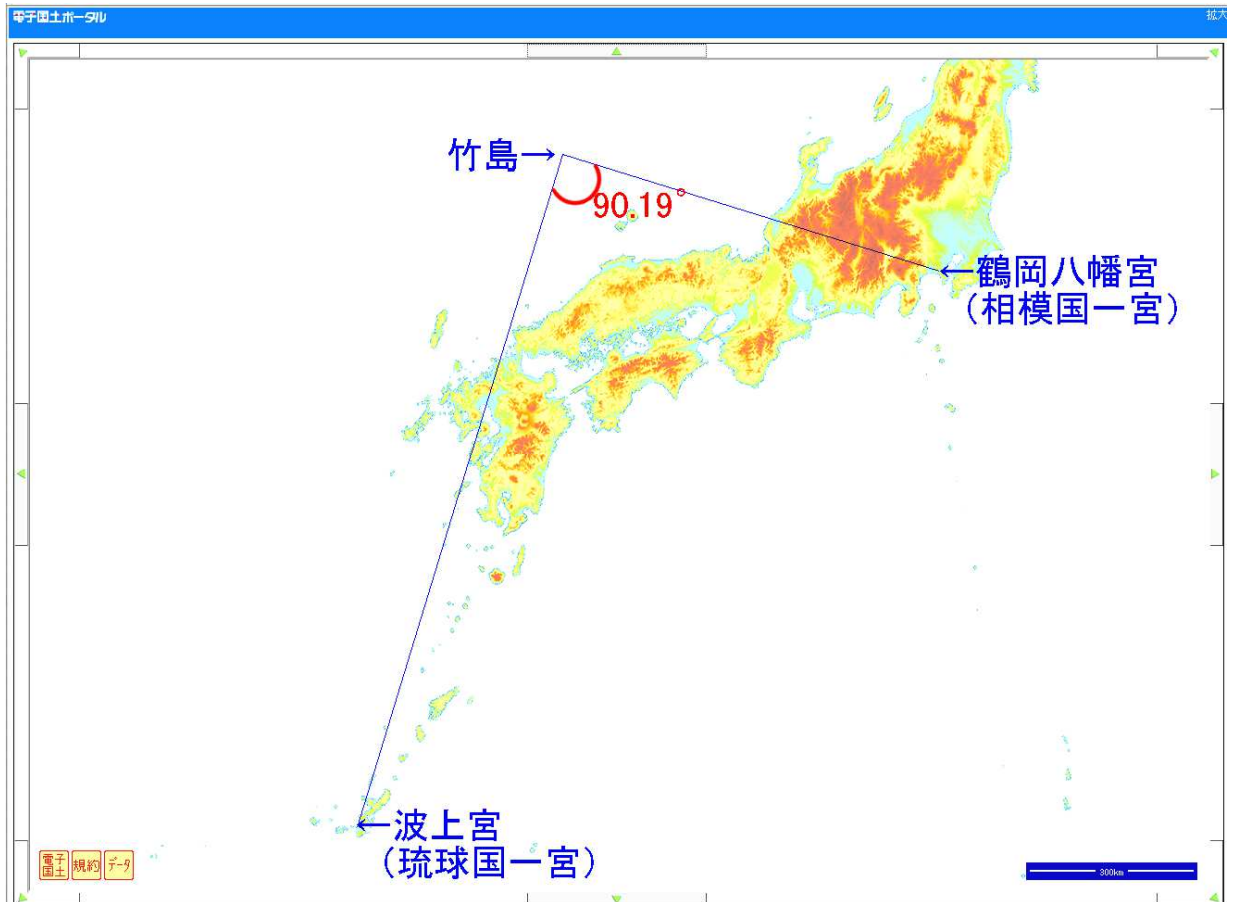


図-8

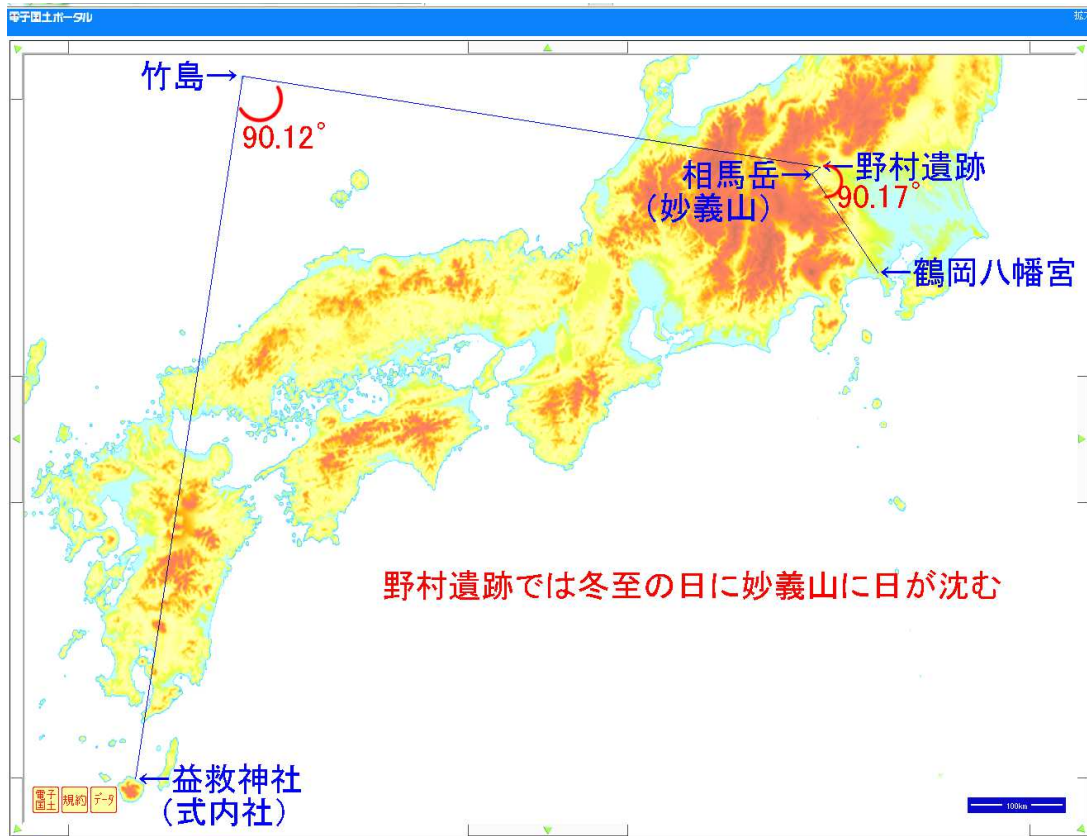


図-9 (冬至には野村遺跡-相馬岳を結んだ先に日が沈む、野村遺跡は環状列石を持つ縄文遺跡)

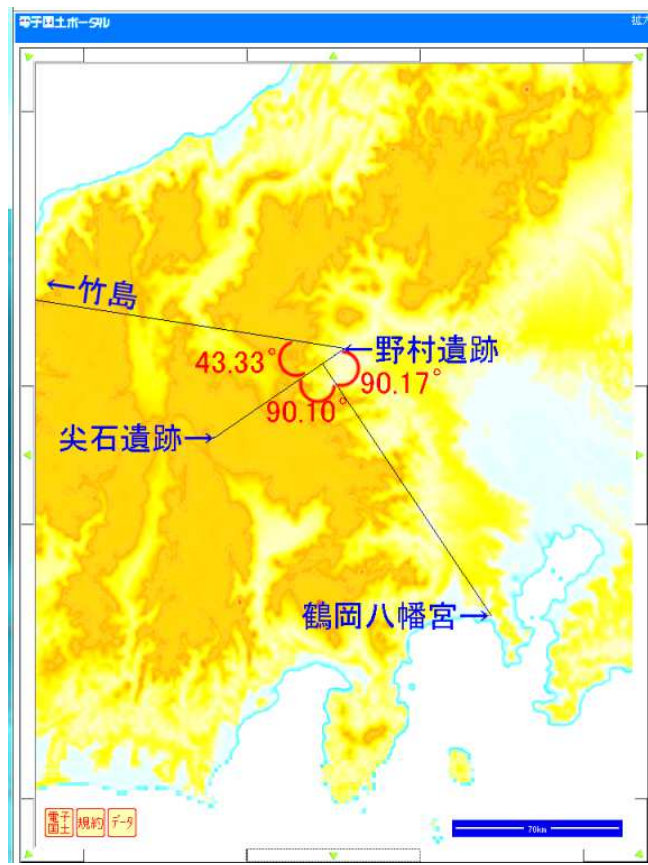


図-10 野村遺跡から相馬岳を見ると、ほぼ真後ろに尖石遺跡がある

★おわりに

これまで、日本の神社が正確な規則を持って配列されているとして、その法則をHSCPと名付けてホームページ

<http://w312.k.fiw-web.net/hscp/> 神社はなぜそこにあるか？

で主張を続けてきた。しかし、この意見に対する反応はほとんどなく、特に博物館などにそのページのURLを書いた名刺を置いてきても、そのURLにアクセスすらしてもらえない状態が続いている。また反論に対して500万円の礼金を贈呈することにしても反応は無いに等しかった。

だれも本気にしてくれない理由に

1. 古代人が精密に遠方の方向を知ることなどできるわけがない。地図の歴史を全く知らない。
2. 縄文遺跡と神社を一緒に考えるなどとんでもない、時代錯誤もはなはだしい。
3. 環状列石は墓地、配石遺構は住居跡であることがすでに確定している。ろくろく、勉強もせずに生意気なことを言うな！！
4. 北海道から沖縄まで神社が同じ法則で配列しているなど、とんでもない。日本の歴史を全くわかっていないので話にもならない。北海道や沖縄の神社は明治期に造られたことをわかっていない！！
5. 一宮に関する常識も知らない、神社の由緒も読んでいないに違いない！！

などの認識があり、それが常識化しているものと考えている。

しかし、図1から10によって、小学生でもこれまでの常識が間違っていることを理解してもらえると確信している。また、図-9、図-10では、その前の図と併せることで、古代人が冬至の時の太陽を特別に扱っていたことをさらに明確にすることができたと考えている。また環状列石についてもホームページの「図S56 石の宝殿と環状木柱列、環状列石の位置関係」と併せると、これまでの環状列石に関する常識が間違っていたことを示すと同時に、石の宝殿に関しては、それこそ全ての人達が時代錯誤をしていたことがわかる。

特に1. の常識は根深いもので、研究の大きな妨げとなった。しかし、小林達雄名誉教授の「古代人は正確に方向を知ることができた。」とする専門家の主張を胸に抱いて研究を続けることができた。

この研究をしていて、特に疑問を感じることは、大陸に最も近い対馬から、大陸につながるHSCPに従う確かな線が一本もないにもかかわらず、太平洋の島々に多くの線が正確に到達することである。これは、神社の発祥に関して一石を投じるばかりではなく、本土と共通する古代の祭祀範囲、はては日本人の発祥に関する有意義な意見になると考えている。